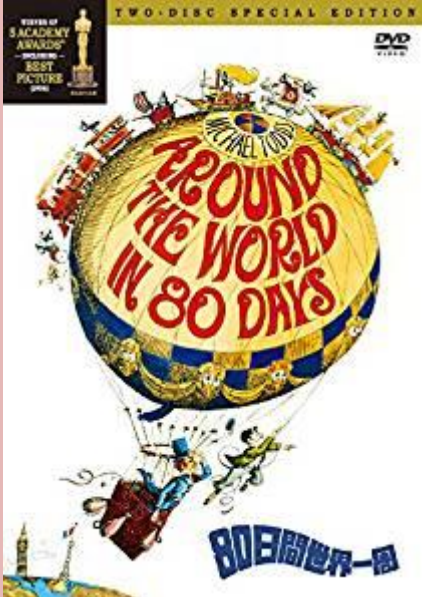


『80日間世界一周』 原題 <i>Around the World in 80Days</i>		執筆:清水 純子
		1956年
制作国	アメリカ	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ：監督 マイケル・アンダーソン/ 脚本 S・J・ペレルマン, ジェームズ・ポー、ジョン・ファロー/ 製作 マイケル・トッド/音楽ヴィクター・ヤング/ 撮影ライオネル・リンドン/</p> <p>キャスト：デヴィッド・ニーヴン：フィリアス・フォッグ/カンティンフランス：パスパルトゥー/シャーリー・マクレーン：アウダ姫/ロバート・ニュートン：フィックス刑事/ジョン・ギールグッド：ミスター・フォスター/フィンレイ・カーリー：アンドリュウ・スチュアート/マレーネ・ディートリヒ：サロンのホステス/ロナルド・コールマン：鉄道職員 / マルティーン・キャロル：旅行者 / シャルル・ボワイエ：ムッシュ・ガッセ/トレヴァー・ハワード：デニス・ファレンティン/ノエル・カワード：ヘスケス・バゴット/フェルナンデル：パリの御者/その他/</p>	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	169分	
ストーリー	<p>ヴィクトリア朝イングランドのジェントルマンのフォッグ卿は、ロンドンの社交クラブで80日間で世界を一周してみせると豪語して、全財産の2万ポンドを賭ける。フォッグ卿は、忠実で器用な召使のパスパルトゥーを連れて、フランス、スペイン、インド、香港、日本、アメリカを周り、危険と困難を勇気と機転と経済力で切り抜ける。フォッグ卿の賭けは、各国で話題になり、投機の対象になる。最後のロンドンで強盗容疑のために留置されて時間を浪費したフォッグ卿は、賭けに負けたと思ひ込む。しかし、またもや機転の利くパスパルトゥーが、日付変更線を超えたために一日得をしていたことを気づかせてくれる。そのおかげでフォッグ卿は、定刻どおりにクラブに舞い戻り、勝利宣言をする。</p>	
時代設定	1872年	
場所	フランス、イギリス、スペイン、インド、香港、日本、アメリカ	

社会背景	ヴィクトリア王朝のイギリスにおいて、裕福な紳士たちは特権階級として君臨し、金と暇をもてあましていた。イギリスの警察スコットランドヤードの活躍。大英帝国イギリスの世界制覇に伴う異文化への関心。
文化的背景	イギリスの紳士階級は金銭と暇にまかせて、かけ事や趣味に打ち興じる余裕があった。階級差が著しく、召使いを顎で使っていた。体面とプライドが大切な紳士階級。イギリスの警察の躍進。
使用言語	英語、スペイン語、フランス語、時として中国語、日本語その他。
テーマ	世界旅行と探検、異文化への関心、未知の者への興味。
みどころ	19世紀の原作者ベルヌの世界一周旅行はSFの世界のようであったが、映画製作時の20世紀中庸でも夢であったが、驚くべき新規な感覚と豪華な映像でとらえている。半世紀以上前の映画とは思えぬ美しさ、デヴィッド・ニーヴンの英国紳士、ゲスト出演する有名俳優など色あせない豪華なエンターテイメントである。
印象深いせりふ	Good heavens. Why wait any longer?/ -He's lost the wager--/ -Of course he has, 20 times over..../once he missed his transatlantic connection./Steady on, haps. Play the game./Remember, we're all British gentlemen./-There's still 14 seconds to go./ -The man's not superhuman./What do you expect him to do? Pop down the chimney like Santa Claus?/ I haven't the least idea. I only know that Fogg is the most punctual man alive./ Gentlemen, here I am.I trust that I've not kept you waiting./Hello, Fogg.Great Caesar's ghost!/ A woman in the club!/ My dear, I must ask you to leave these precincts at once./ -No woman has ever set foot in the club./ -Why not?/ Because that could spell the end of the British Empire. This is the end.
授業教材用 メリット	コンパクトな異文化学習が可能。世界各地の風景、風俗や現地衣装に身を包んだ人々などが美しい映像で楽しく鑑賞できる。西洋人の眼でとらえた世界観がわかる。大勢の大物俳優のカメオ出演（有名俳優等の端役出演）が楽しめる。ウイットに富んだしゃれた会話とストーリー。
授業教材用 デメリット	時代設定も映画の撮影年代も古いため、各国の現在の状態を伝えていない。ステレオタイプの表層段階にとどまる各国紹介。アメリカ編ではインディアンが西部劇風の悪者として扱われる差別感覚。3時間弱の上映時間が長い。
映像入手元	ワーナー・ブラザーズ・ホームエンターテイメント
原作の有無	ジュール・ベルヌ 『80日間世界一周』
支持反応	Rotten Tomatoes 評価（批評家 74、観客 58）
キーワード	世界旅行、賭け、社交クラブ、船、気球、列車、象、異文化、紳士階級、召使い、余暇、金。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。